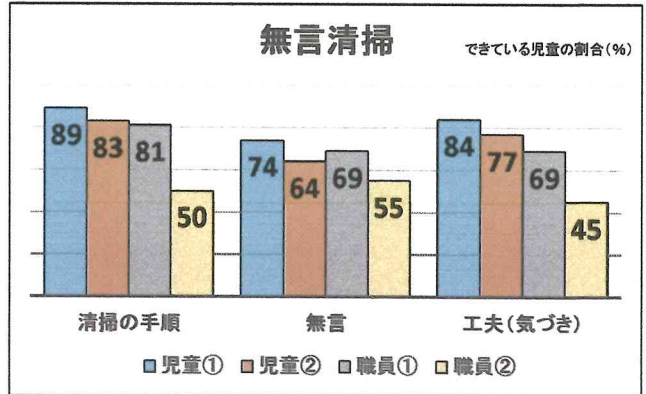
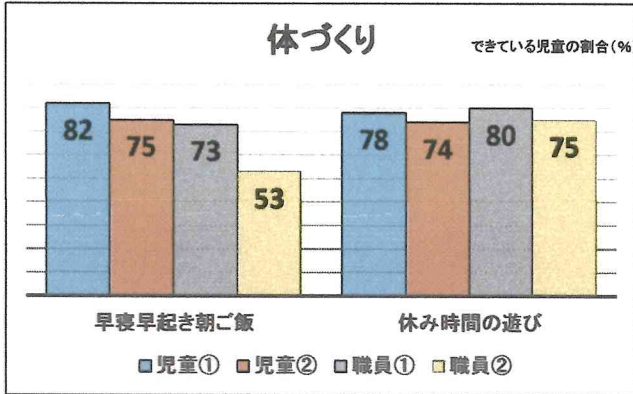
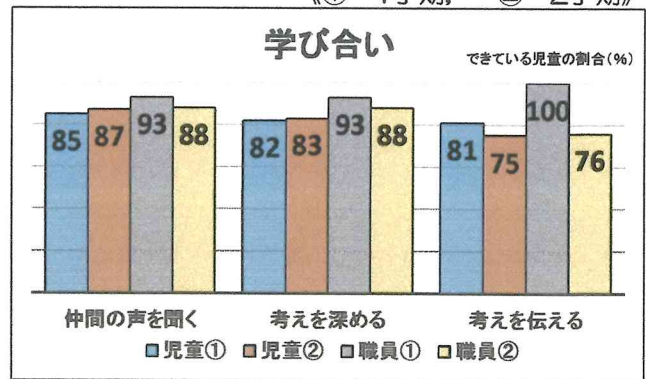
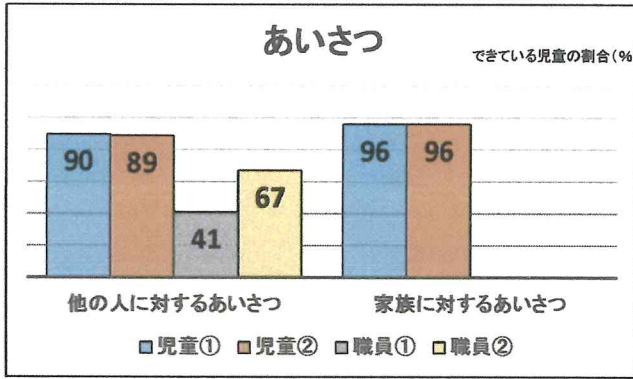


# 青木小学校 学校評価

## 1 令和5年度 児童の自己評価・職員による児童の評価（1・2学期の比較）

《①…1学期, ②…2学期》



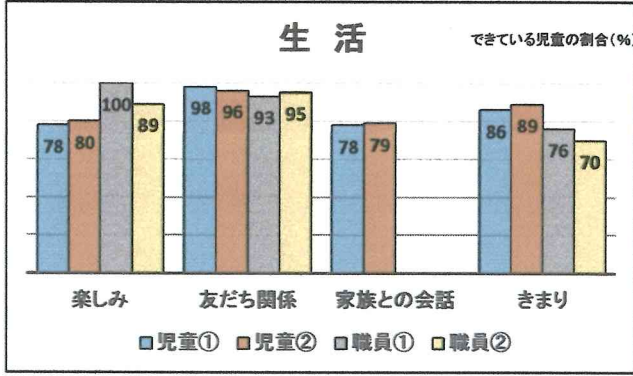
【重点目標における考察】

○あいさつ（『家族に対するあいさつ』は職員は評価していません）  
 児童と職員のあいさつの評価に大きな差があります。しかし、1学期に比べ職員の評価が41%から67%に上がっています。これは職員が2学期の重点として、子どもたちのあいさつが良くなるように取り組んできた結果といえます。これからも相手のことを考えて気持ちのよい挨拶ができるように指導していきます。

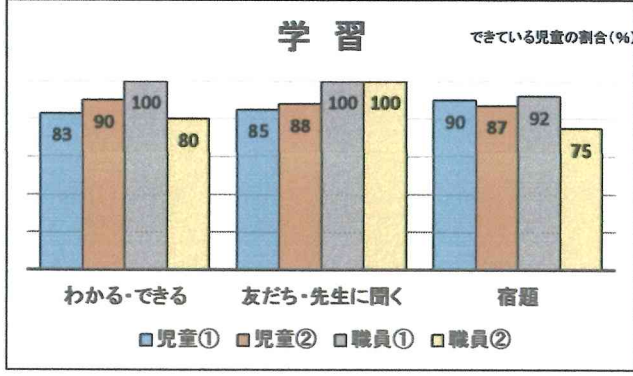
○学び合い  
 自分の考えを仲間に伝える項目の評価が若干低いです。授業の中で、全体の話合いで考えを発表することに苦手意識がある子どもがいます。ペア、グループによる少人数の学び合いの中で、自分の考えをまとめ、相手に伝える学習形態を日々の授業の中に取り入れていきます。

○体づくり  
 「早寝早起き朝ご飯」の職員の評価が下がりました。家庭でのゲームの時間が多く、睡眠時間が少ない児童の増加を危惧しています。睡眠を十分にとることは、健康や成長に良い影響を与えます。生活のリズムを整えるために、ご家庭の協力をお願いします。「休み時間の遊び」については、11月に行った150周年記念150周マラソンに、朝や休み時間に進んで取り組む姿が見られました。

清掃については、児童と職員の評価に大きな差があります。子どもたちのできているという姿と職員の理想とする姿が違っていることが考えられます。清掃の時間に師弟同行で職員も一緒に清掃を行い、理想とする姿を見せていきます。また、ていねいな清掃の仕方を指導したり時間が余った際に何に取り組むか決めたりすることで、清掃の質を上げます。



【生活面における考察】（『家族との会話』は職員は評価していません）  
 「学校に行くのを楽しみにしている」という質問は約8割の児童が楽しみにしているという回答でした。「友だち関係」はほとんどの児童が満足しています。ただし、友だちの言動で悩む児童もいますので、これからは児童の様子をよく見ていきます。また、ご心配なことがありましたら連絡をください。  
 「家族との会話」は、高学年になると口数が減少する児童もいますが、大人から話しかけて、関わりを持つことが大切だと思います。  
 「きまり(ルール)」については、職員の継続的な指導や委員会の呼びかけにより自分たちでルールをつくる・守るという自治の意識を少しずつ高めていきたいと思っています。



【学習における考察】  
 「学習」については多くの児童・職員共に80%をこえています。今後も100%になるように、児童が興味関心を持って授業に関わる教材の準備、主体的に活動する場面の設定、ICTの効果的な活用を通して、全員ができた・わかったという達成感を得られる授業づくりをしていきます。そして、誰もが安心して意見を出し合える温かい学級づくりをしていきます。  
 「宿題」については、ほとんどの児童が宿題を提出しますが、取り組みの質を向上させることで、学力を向上させていきたいです。やらされる学習から自分が学習したことを定着させるための家庭学習になるように、教科書を読み直したり、ワークやドリルの問題を解いたりするなど、自主的に家庭学習に取り組んで欲しいです。



## あおきっ子を見つめて

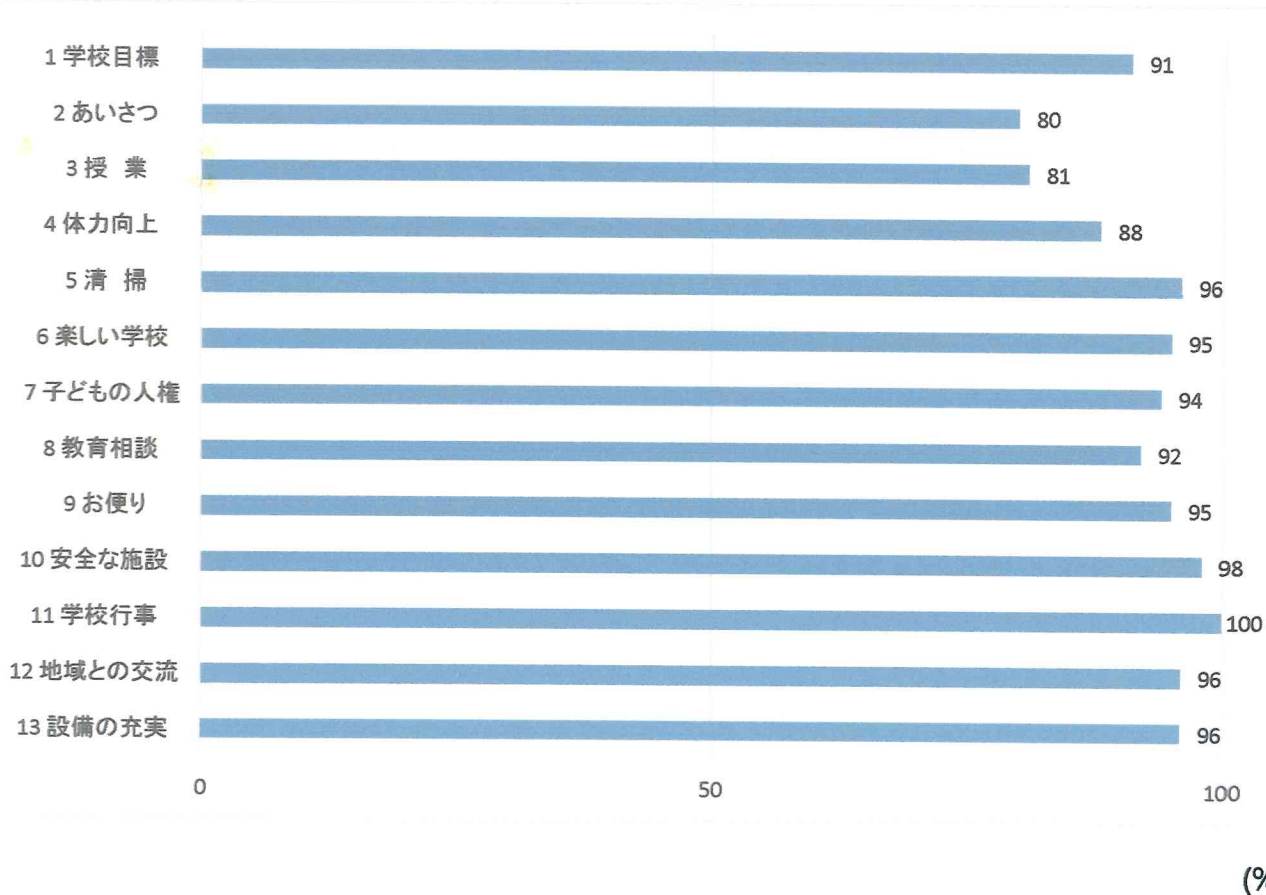
学校評価保護者アンケートの結果がまとまりましたので、ご報告申し上げます。提出していただいた112件中、「そう思う」または「ややそう思う」を総計した結果、総合評価は92%となりました。青木小学校の教育活動に日頃からご理解とご支援をいただいている結果が高い評価に結びついたものと考えられます。

「子どもは、学校であいさつができています」「子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。」この2つの質問は他と比べて評価が少し低いです。あいさつについては、されると返す児童は増えていますが、自分から積極的にあいさつをする児童は学校でも少ないです。地域でも同じ様子であることが推測できます。学校でも地域でも進んであいさつができる子どもに育つように、学校と家庭連携して子ども達に気持ちの良いあいさつについて伝えていきましょう。

「授業がわかりやすく楽しいと言っている」については、子ども達が主体的に授業に関われるように、学習問題から課題を子ども達が見つけ、自分たちの考えで見通しを持ち、友だちとアイデアを交換しながら自分の考えを深めていけるような、問題解決型の授業を展開し、児童の学力の向上を図ってまいりたいと思います。また、生活科や総合的な学習の時間を使って、体験や活動を多く取り入れ、子ども達が学校に来るのが楽しみになるような授業をしたいと考えています。

これからも生活習慣や学習活動について、多様なアプローチで、子どもたちのサポートを行い、保護者の皆様の高い評価に応えるべく、職員一同、研鑽してまいります。今後とも、ご支援、ご協力をお願いいたします。

青木村立青木小学校



## 体罰に係る調査について

今年度、現在勤務している職員に関して体罰・暴言が「ある」という答えはありませんでした。しかし、今後もカウンセリング研修やアンガーマネジメント研修を実施することで、自分の感情をコントロールする力を高め、児童の気持ちに寄り添った支援や子どもたちが安心して学校生活を送ることができるように努力してまいります。

気になることがありましたら校長までご連絡ください。